

香川県立小豆島みんなの支援学校は 知的障害のある児童生徒のための特別支援学校です。

小豆地域の方々の思いを受け2023年4月に開校しました。「地域に根ざし、地域とともに子どもたちを育てる」という基本理念から、この校名が付けられました。

「なかよく のびのび かがやくこ」の校訓のもと、自立と社会参加を目指して、一人一人の障害や特性に応じた教育を行います。



小学部

児童が自分の良いところや可能性に気付き、自ら主体的に学ぶことのできる学習や、地域の方々とのおふれあい、隣接する小学校、居住地校等との交流及び共同学習を大切に、社会性や豊かな人間性を育てます。



【日常生活の指導】



【国語・算数】



【作業学習】



【生活単元学習】



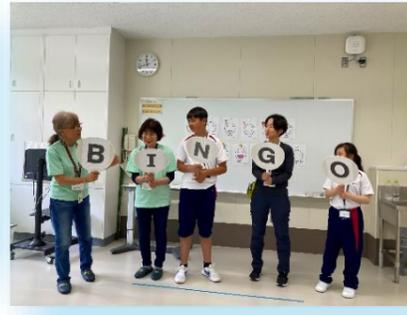
【図画工作】



【体育】



【理科】



【外国語】

高等部分教室

障害の状態により、島外への通学等が困難な生徒の学びの機会を保障する場として、校内に香川中部支援学校高等部分教室を設置しています。卒業後の生活を豊かにするための技能や習慣を養う学習を行います。



【現場実習】



【自立活動】



香川中部支援学校(本校：高松市)の学校祭や体育祭に参加します。

学校行事 「みんなのフェスティバル」

学習の成果を発表し、地域の方との交流を深める「みんフェス」。



全校生ダンス



作品展



パラスポーツ体験

部活動

各種大会出場を目指して、週に2回、放課後に活動しています。



B班の合言葉は
「学校のために みんなのために
お客さんのために 自分のために」

主な活動内容は
校内の清掃
トイレトーパーや石けんの補充
隣接する小学校の草抜き など。

VIVA
オーリーブタイム
全校縦割り班で取り組む

A班の合言葉は
「力を合わせてみんなを笑顔にしよう」

主な活動内容は
小豆島中央病院の草抜き
海岸のごみ拾い
校内の園芸活動 など。

